

# 会 議 録

年 月 日	令和4年10月28日(金)
時 刻	自 午前10時30分 ～ 至 午後0時5分
場 所	伊那市役所 2階 第1委員会室
内 容	伊那市商工業振興審議会
会 議 概 要	(進行：高嶋商工観光部長)
	<p>1 開会(高嶋商工観光部長)</p> <p>2 委員委嘱 (委員任期 令和4年10月1日から令和6年9月30日)</p> <p>3 あいさつ(白鳥市長)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症の発生から3年目となり地域経済は疲弊している。</li><li>・市では今までに30弾に及ぶさまざまな経済対策を行ってきた。今後も必要に応じて引き続き支援を行っていく。</li><li>・新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシア・ウクライナ情勢により、燃料・農薬・肥料・食品等が値上がりしており、かつてないほど経済環境は悪化している。一方、給料は上がらない。日銀が為替介入を行ったが、そう簡単に元に戻るわけではない。</li><li>・伊那市は、新技術を使った地域課題の解決を進めている。食料をこの地域で安定的に生産すること、森林整備を進めることにより安定的に水を得て農業用水・工業用水に使用していくこと、森林活用による木質バイオマスを使用したボイラーを普及させること、安定的な水を使った小水力発電を普及させること、屋根乗せ太陽光パネルを普及させることに特に力を入れている。</li><li>・食料、水、エネルギーを自分たちで賄える安心な地域を作り、その上に、商工業はじめとしたすべての産業が発展する地域づくりを進めている。</li><li>・これほど安心な地域はないと考えており、特に教育関係・農林業に携わる方を中心に移住者が増えてきている。</li><li>・日本最大級の移住スカウトサービスSMOUT(スマウト)では、発信した情報に対しユーザーが全国で1番興味を持った市町村に伊那市が選ばれた。</li><li>・㈱テレビ東京ダイレクトと包括連携協定を結び伊那市の魅力を情報発信している。人が集まれば地域の活性化に繋がる。</li><li>・今後、国では燃料価格の低減策に続き、電気代やガス代の負担軽減策を進めていく。市でも10月の臨時議会において企業や低所得者を対象とした支援策の実施を決めた。</li><li>・事業者向けには、高騰する電気料金の負担を軽減するため、使用電力量に応じて応援金を支給する。</li><li>・今や地域経済は、世界市場の影響を直接受ける状況となっており、広い視野が求められる。各分野から参加いただいている審議会委員の皆様の幅広い識見やお知恵をいただきながら、商工業の一層の振興と伊那市発展のためにご協力いただきたい。</li></ul>

#### 4 自己紹介

#### 5 伊那市商工業審議会について

事務局より説明

#### 6 会長及び副会長選出

会 長 安川 員仁 氏（伊那市政策委員）

副会長 北澤 利文 氏（伊那商工会議所 商業部会長）

##### （1）安川会長あいさつ

企業の代表取締役社長を務めた経験を生かし、皆様のご協力をいただきながら、会長職を全うしていきたい。

##### （2）北澤副会長あいさつ

伊那商工会議所商業部会長、伊那市コミュニティカード協同組合理事長を務めた経験を生かし、市政のお役に立てればと思う。よろしくお願ひしたい。

#### 7 会議事項

##### （1）部会設置について

事務局より、中小企業・創業支援部会、商業部会、工業部会の3つの部会を設置すること、及び以下部会構成について提案し、承認いただいた。

< 中小企業・創業支援部会 >

部会長 北澤利文委員、副部会長 牧田和弘委員

委 員 原田学委員、伊東洋明委員、菊池正毅委員、網野隆志委員、伊藤仁一委員

< 商業部会 >

部会長 伊東洋明委員、副部会長 田中順子委員

委 員 湯澤武委員、高橋正樹委員、北澤利文委員、牧田和弘委員、春日祐一委員

< 工業部会 >

部会長 原田学委員、副部会長 菊池正毅委員

委 員 湯澤武委員、安川員仁委員、高橋正樹委員、網野隆志委員、伊藤仁一委員

##### （2）伊那市商工業振興ビジョンについて

##### （3）伊那市の産業について

##### （4）中小企業施策の概要について

##### （5）商工施設の概要について

##### （6）産業立地施策の概要について

事務局より、（2）～（6）について一括して説明

[質疑・応答] 質問、意見等なし

##### （7）意見交換（委員より現在の地域経済状況等について）

- ・長野県では、コロナ下、ウィズコロナ、アフターコロナで様々な施策展開を行っており、伊那市との連携が必要と考えている。
- ・9月県議会で「信州プレミアム食事券発行事業」、「経営健全化支援資金（新型コロナ向け伴走支援型）の貸付限度額引き上げ」、「冬のアクティビティ利用促進事業」の補正予算が議決された。4回目のワクチン接種も進め、経済活動を活発化させたい。
- ・いずれコロナの影響が収まれば資材の高騰も収まると思っていたが、ここに来ての円安によ

り、資材高騰の影響が続いている。

- ・中国に比べ日本はコロナの影響からの回復が遅い。
- ・自社取引の中で、10%～15%販売価格が上がっているため売上総額は昨年より上がって当然のはずであるが、上伊那管内では売上総額が減っている。
- ・新規の設備投資案件が少ない。
- ・新規の受注案件の気配もない。
- ・市の企業アンケート結果どおり、人材の育成・確保が急務である。
- ・人に代わるAIを搭載した自動検査機等の導入の動きが増えてきている。ただそれがすぐ人にとって代われるわけではない
- ・円安の影響で中国から仕事を日本へ戻したいと思っている企業もあるが、人件費部分が中国単価で調整されるので価格が合わずに仕事を受けられないこともある。最低賃金が上がったことも影響している。
- ・自動車工場での生産調整、半導体不足により注文があっても生産できない状況など、あまりプラスの要因はないのではないか。
- ・西箕輪に建設される産学官連携拠点施設の設置目的と今後の展開について、産業界とも情報共有してほしい。

#### 8 その他

#### 9 閉会（高嶋商工観光課長）